

higashiyamachiiki fukushikatsudou renrakukai

## 東山地域福祉活動連絡会

### 東山の福祉活動担い17年 「いつまでも住んでもらいたい」

12月14日、今年2回目の東山サロンが開かれ、地域のお年寄り28人が東山保育所の子どもたちのお遊戯や、JAふらの青年部東山支部（大野寛之代表）のメンバーが打ったそばを楽しみました。サロンは、お年寄りの顔合わせの場として、11月から3月までの冬期間、月に一度開催され、さまざまな企画でお年寄りを楽しませています。今回参加した小向礼子さんは、「おいしかったあ。若い人たちの顔も見れていいね」と満足した様子。主催の東山地域福祉活動連絡会（天内繁会長）は、平成7年



▲自分たちで栽培したそばで、そば打ちを実演するJAふらの青年部東山支部のメンバー



▲昼食会の様子

に東山地域連絡協議会や当時の社会福祉協議会東山支部、東山地区農業協同組合、東山民生児童委員会の4つの組織が連携し、地域福祉を支えることを目的に誕生しました。活動は、除雪ヘルパーや屋根雪下ろし、デイサービスボランティア、平成14年よりサロン活動を行って来ます。企画・調整を担当する事務局長の菅野貢さんは、「発足して17年が経ち、会の活動が地域のみなさまに理解されるようになり、連携体制も徐々にできてきました」とこれまでを振り返り、しみじみと語ります。天内会長は、「高齢者が増え、運営は厳しくなりますが、若い人たちの協力をもらいながら、いつまでも東山に住んでもらえるよう活動を継続していきたい」と話していました。

